

第40回 萱峠～三国山～辰巳峠

平成27年2月21日（土）晴

行程

除雪終了点 8：27 - 岩井滝 P 9：15 - 中津川分岐 10：17 - 萱峠 11：03 -
1213P 12：01 - 三国山 12：26 - ギラガ 13：14 - JP 13：39 -
辰巳峠 16：35

隊員

船越 仁 角原 寛 角原鶴子 岡本紀美子 佐々木靖昌 高田一馬 福田武宏
柴田幸代 増田みどり

前回（2月15日）が辛かったこともあり、この日は広々とした山域、それも1年前のリボン点に向かうことにしました。今回の山域の一部は、雪山の醍醐味が味わえる人気の恩原高原です。

我々ゆきんこ隊が細々と雪中の県境を歩いて3年目、それも終盤が近づいていることに興味を持ち、同行を申し出て下さる方が出て来ました。駐車場で落ち合った初対面の方々は、およそひと回り若くて体力十分の男性2名、女性2名です。今日は合わせて9名の編成になりました。

積雪は2mを超し、放射冷却で気温はマイナス12度の快晴の空の下、我々ロートルは先頭を切ることもなしに250m高度を上げ、県境稜線の萱峠に着きました。1年前に結んでおいた赤リボンにタッチです。稜線の高度を更に上げると、背後に大山東壁が現れました。澄んだ冷気の中に見える鋭鋒に感激です。本日の強力ゆきんこ隊に、天気も味方してくれました。

本日の歩行距離はこれまでの最長を記録し、13.4kmで8時間7分でした。



第41回 黒岩高原

平成27年2月28日(土)晴

行程

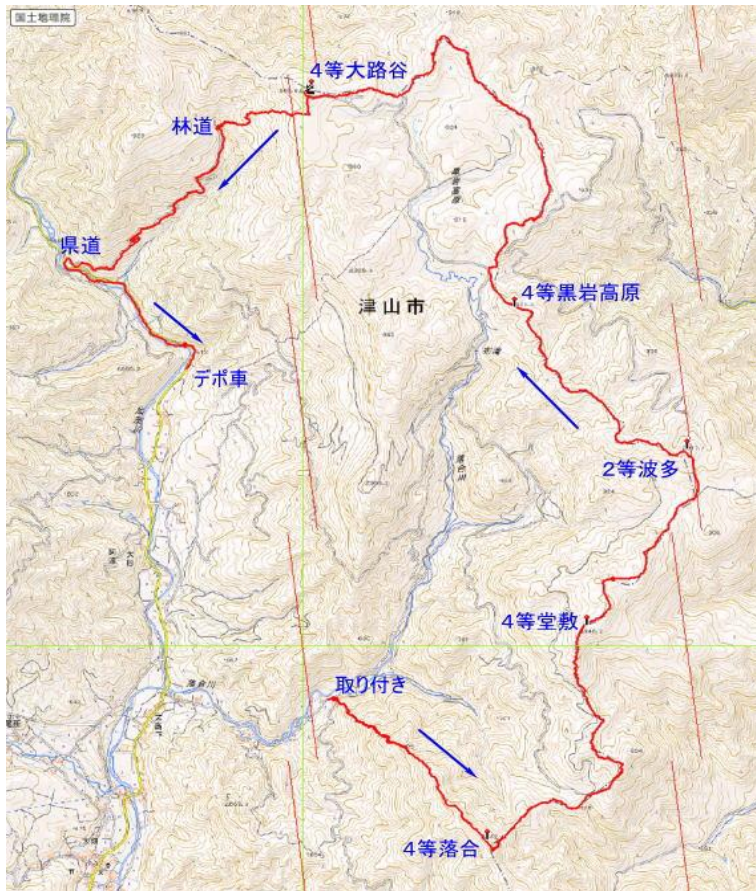
尾根取り付き 8:22 - 県境赤テープ 10:06 - 4等堂敷 11:39 -

P950 昼食 11:53 - 4等黒岩高原 13:28 - 4等大路谷 15:25 - 林道 16:06 - 県道 16:58 - デポ車 17:27

隊員

船越 仁 角原 寛 角原鶴子 岡本紀美子 佐々木順栄 高田一馬 福田武宏

柴田幸代 増田みどり



前128号掲載と同じ急尾根を2度目の登りです。今日の雪は幾分締まっています、前回より短時間で県境のリボン点に到着しました。そこから北上して黒岩高原を目指します。今回を含め残り数区間は、除雪道路から遥かに遠い県境ラインがある深山区域です。

一旦県境に乗れば、少しでも距離を伸ばしたい。それには雪が締まる3月で、気温の低い日が最適です。この日は今年初めてのそんな天気です。折角の黒岩高原を闊歩したい気持ちを抑え、高原を横目に眺めながら県境を更に奥へ進みます。

今日の終着点は、鉄条網が覗いているアンテナ跡の三角点広場です。ここで県境を離れて下降、目標はデポ車に通じる林道

です。予め設定していた尾根ではありませんが、最後に雪壁を連ねた溪流2カ所を渡り、目的の林道に到着しました。

困難な区域が最後に残り、私たちの挑戦も終盤がいよいよハードになってきました。歩行距離は最長となり、15.2kmで9時間23分、累積登高1360mでした。



第42回 険所峠

平成26年3月8日(火)晴

行程

最終除雪地点(阿波発電所) 6:58 - 渡渉 8:45 - 前回リボン点大路谷 9:23 - 反射板 9:55 - 険所峠 13:04 - 林道リボン点 13:26 - お夏の墓 14:15 - 駐車場所 16:22

隊員

船越 仁 角原 寛 角原鶴子 岡本紀美子 佐々木靖昌



前回の下山ルートを今朝は登ることになります。徐々に奥深くなる区域なので、いつもより1時間早く歩き始めました。気温は高目ですが、早朝なのでカンジキを履けば快適に歩けます。前回の渡渉跡を渡り、急勾配の尾根もトレースを辿ります。

思いの外早く県境のリボン点に到着しました。県境北上を出来るだけ伸ばさねばなりません。反射板ピークに着く頃から青空が広がり始め、北面の木々の霧氷はキラキラと輝いています。今日の県境は急コーナーの多い複雑な稜線ですが、雪は良く締まっています。歩行は予想以上に快適でした。

いかにも秘境僻地を思わせる険所峠には、お地蔵さまはもとより標識も無ければリボ

ンもありません。ただ杉の幹に白ペンキで水の一文字が記されているのみです。分水界の水を表しているのだろうか。私達は今少し県境を伸ばし、林道に着きました。そこが今日の終着リボン点です。そしてその林道を下ること7.5km、3時間でした。全歩程は17.1km、9時間24分、これまでの記録を更新しました。



第43回 険所峠～八本越

平成26年3月12日（木）晴

行程

阿波発電所除雪地点 7:05 - お夏の墓 9:23 - 険所峠西林道 10:35 - マッコウ
登山道県境合流 12:00 - 1088P 13:14 - 八本越 13:30 - 車 17:12
隊員

船越 仁 角原 覚 角原鶴子 岡本紀美子 佐々木順栄

この日は最遠のコース、険所峠～マッコウを狙います。一昨日からの寒波で20～30cmの新雪があります。早朝の軽かった雪質も、あっという間に重い湿雪になりましたが、その下はまだ締まっています。7.5kmの林道を3時間30分で、前回のリボン点に到着しました。

昼食を挟んで3時間の県境踏破、重い新雪を踏み込んで八本越の峠に着きました。県境距離はたったの3.9kmですが、疲れしました。目的のマッコウは眼前です。1時間もあれば往復できるのですが、ここを最終のリボン点としました。次回のフィナーレでは逆にあれを乗り越えて来て、この場所で祝杯としたいものです。

この日の全歩程は20.1km、10時間7分。これまでの距離を大幅に更新しました。全歩行中の県境比率は19.4%と効率は悪いです。雪中泊なしで最深部区域を踏破するには、除雪地点の阿波発電所を扇の要として、3度も使うことになりました。否、3度でよく済んだと思います。



第44回 釈山

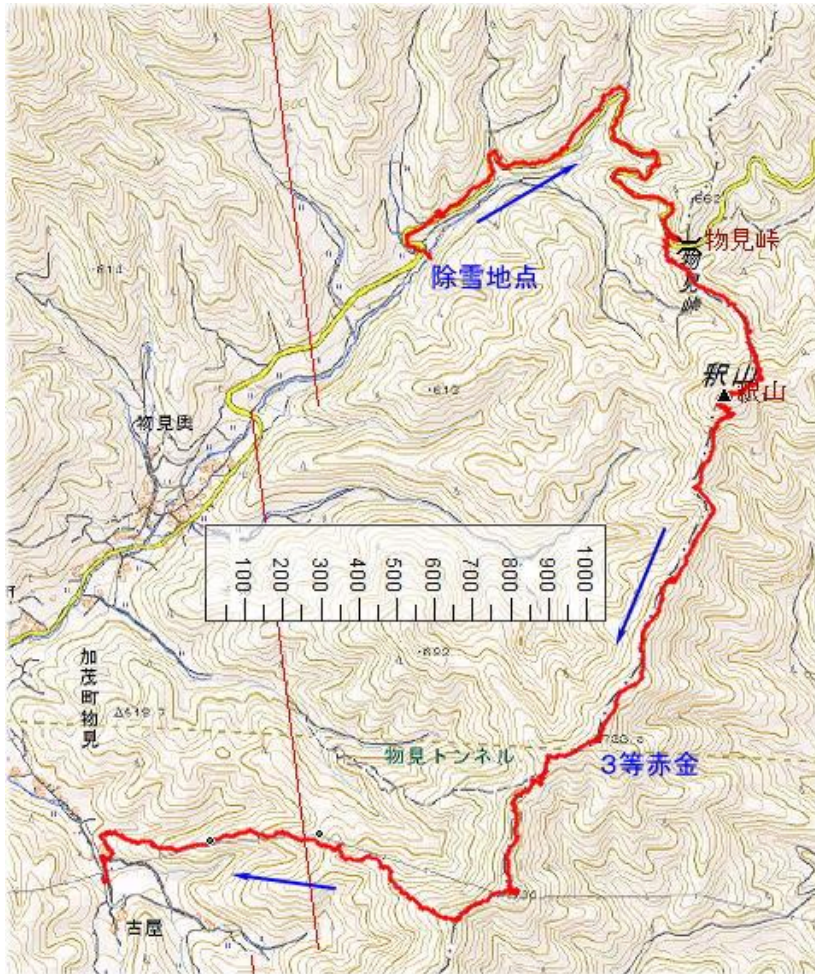
平成27年3月16日（月）晴

行程

除雪地点 8:00 - 物見峠 8:45 - 釈山 9:29 - 赤金 10:16 -
送電鉄塔 10:44 - 730P 10:48 - 古屋 11:30

隊員

船越 仁 角原 覚 岡本紀美子 佐々木順栄



フィナーレを飾る辰巳峠～マッコウ～八本越の前に、ほんの少し抜けていた部分を繕いに行ってきました。峠までの1.5kmがきつい。カンジキ履いてもズボズボです。

物見峠からは岡山側から登る。雪は無いが、濡れた落ち葉で滑るのでカンジキを付けたままです。稜線に上がってカンジキを外した。以後は殆ど雪はありません。先日までと比べて山が低い(700m)からでしょう。

釈山の登りは半端じゃない斜度です。雪がしっかりあればステップが切れるのですが、ストックと立木が頼りです。

リボン点到タッチして下山としました。

残りはいよいよ辰巳峠～マッコウ～八本越だけになりました。

雪が融けはしないか、心配です。

